

各地で稲刈り体験

11月は町内各地で、児童たちが稲刈りを体験しました。6日は、小坂小学校（山本定校長・221人）の5年生32人が徳永廣敏さん（陣）の田んぼで稲刈り体験をしました。児童たちは、徳永さんの指導を受けながら丁寧に刈っていき、脱穀まで体験しました。江原優粋くんは「小さかった稲がこんなに大きく育って嬉しかったです」と田植えから収穫までの喜びをかみしめました。10日は、御船小学校（大脇為久校長・339人）の5年生60人が、本田常久さん（辺田見）の田んぼで、JAかみましき青壮年御船支部（宮本力将支部長）の指導を受けながら稲刈りを体験しました。児童たちは、「楽しい！楽しい!!」と興奮しながら慣れた手つきであっという間に刈り取りました。



1_稲の刈り方を教える宮本支部長
2.3.4.5_稲を持ってポーズする御船小と小坂小の児童たち
6_落ちてる稲も見逃さない
7_稲の刈り方を教える徳永さん



1_くまモンも化石見つけたよ！
2_参加者もたくさん発掘しました！

化石発掘で県外にPR!!

11月5日、町観光協会（永本文宣会長）が福岡県だざいふ遊園地で開催された、くまもと&くまモンフェスタのイベントで、化石発掘体験を行いました。これは御船町をPRするために行われたもので、約50人が参加しました。参加者たちは、ゆるキャラのくまモンやふねまると一緒にハンマーで石を割り、化石発掘を楽しみました。参加した子どもたちからは「今度は御船町に行きたい!」と、うれしい声も聞けた県外でのイベントとなりました。



お楽しみ演芸会で人形浄瑠璃を演じる様子

第15回薬師堂健康感謝祭

11月10日、第15回薬師堂健康感謝祭がウーマンサークルなでしこ会（明月ヤヨイ代表）主催のもと南田代集会所で開催されました。この祭りは、薬の神様が祀られている薬師堂にお供えをすることで、みんなが健康に過ごしていることに感謝する祭り。明月代表は「みんな集まり、地域の活性化につながれば」と話しました。祭りは、上野保育園の園児たちの可愛らしい合唱や南田代サロンのメンバーで演じるヒトを人形に見立てた「人形浄瑠璃」で笑い拍手に包まれました。地元のとれたて野菜をくじ引きで配り、参加者は感謝祭を楽しみました。

間寛平さん「笑い」を届けに！仮設住宅を慰問

11月1、2日、吉本興業のお笑いタレント間寛平さんが仮設住宅を慰問で訪れました。これは、震災により被災した人たちに、元気と笑顔届けたいという間さんの思いで実現。間さんは、5年前から東日本大震災で被災した地域を走って回る「みちのくマラソン」を行っています。間さんは入居者たちに「みんな笑顔にならなあかんで」と声をかけていました。集まった人たちは、間さんのギャグに終始笑い、笑顔があふれていました。



鉄板ギャグで、みんな大爆笑

消防団非常呼集訓練

11月5日、秋の全国火災予防運動の一環として、消防団非常呼集訓練が行われました。訓練は、消防団員の消防技術の練磨や他分団との連携を図るため、火災を想定して実施。早朝5時30分、役場のサイレンを合図に、団員たちは積載車に乗り込み現場に向かいます。訓練現場となった平成音楽大学付近に到着すると、団長の指示のもとホース連結や放水作業などの確認をしながら消火訓練を行いました。内村光宏団長は「各分団の連結、IP無線を使用しての情報伝達と意義のある訓練ができました」と話しました。



火点に向けて放水する団員たち

第39回御船ライオンズクラブ招待少年野球大会

御船城山少年野球クラブが2連覇!

11月3日から5日にかけて、第39回御船ライオンズクラブ招待少年野球大会（御船ライオンズクラブ・御船城山少年野球クラブ主催）が御船中学校グラウンドと御船高校グラウンドを会場に開催されました。大会には、県内の野球チームが16チーム参加。御船町からは、御船城山少年野球クラブと木倉少年野球団が出場しました。御船城山少年野球クラブが全試合完封試合を達成し、優勝しました。大会の結果は次のとおりです。

<御船城山少年野球クラブの成績表>

	VS 相手チーム	得点
1回戦	あさぎりガッツ少年野球クラブ	16 - 0
2回戦	白旗少年野球クラブ	7 - 0
準決勝	益城中央野球クラブ	16 - 0
決勝	嘉島西少年野球クラブ	13 - 0

<木倉少年野球団の成績表>

	VS 相手チーム	得点
1回戦	蘇陽ウイングス	9 - 10



1.2_豪快にフルスイングする城山少年野球クラブの部員たち
3_剛速球を投げる城山のピッチャー
4_木倉少年野球団のメンバー